

授業展開例（英語）

1 校種・学年 中学校 第1学年

2 単元名 PROGRAM6 由紀のイギリス旅行（SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 開隆堂）

3 単元について

（1）単元観

学習指導要領では、「書くこと」の指導事項（イ）「語と語のつながりなどに意識して正しく文を書くこと」を主に目標とする単元である。

本単元は、イギリスにホームステイに来た由紀が、ホストファミリーのジュディーと友だちのマットにロンドン市内を案内してもらおうという場面設定である。地下鉄のタイルに描かれているシルエットや博物館にある写真のシャーロック・ホームズが話題の中心となっている。生徒にとってはアニメや漫画で有名な「名探偵コナン」が「シャーロック・ホームズシリーズ」の作者、コナン・ドイルの名に由来することを知って親近感を持つことができるであろう。また、海外旅行やホームステイに興味を持ち、学習したことを生かして将来に役立てようという意欲付けができる題材である。

言語材料としては、三人称単数現在形を扱う。三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその答え方、否定文を学習し、家族や友だち、有名人など第三者（他者）について紹介したり、尋ねたりすることができる。小学校での外国語活動では、自分と相手のことについて表現することを学んできたが、中学校では、第三者について表現する楽しさや大切さを体験する。これまでbe動詞を用いて人を紹介する学習をしてきたが、この単元で三人称単数が主語となる一般動詞を用いた文を学習することにより、さらに表現の幅を広げることができる。

〔小学校の外国語活動の目標と内容〕

目標： 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

内容：○外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。

○積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。

○言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。

（2）生徒観

本学級の生徒は、全体的に落ち着いて学習に取り組むことができ、やるべきことはやろうとする姿勢が見られる。

事前アンケートによると、「英語の学習は好きである」項目の肯定的回答が84%であり、英語の学習に対する興味や意欲が全体的に高いことが分かる。また、「英語の学習でどんなときが楽しいと感じるか」項目の自由記述については、「英文が読めたとき。習った英文を使って会話できたとき。グループでの学習。」などがあり、学習したことが自分の力になっていると実感できたり、仲間と関わり合いながら学習したりすることが楽しいと感じている生徒が多い。

一方、「英語の学習の中で難しいと感じていること」項目の自由記述については、「単語を書くこと。英文の作り方。」の記述が多数あり、書くことについての学習への難しさを感じていることが分かる。これらは1学期の定期テストの結果にもあらわれており、大文字・小文字や綴り、英文の構成に誤りが多数見られ、正しく単語を書くことや文法に従って英文を正しく書くことに課題がある。また、be動詞と一般動詞を正しく使い分けて英文を書く力が弱く、夏休み明けテストの動詞を用いて英文を書く問いに対して、正答率が58%であった。be動詞と一般動詞を同時に使ったり、動詞が欠落したりするなどの間違いがあり、be動詞と一般動詞の違いを理解し、使い分ける力に課題がある。

(3) 指導観

本単元を指導するにあたり、特に次の二点を意識して指導する。

第一に、主語に合わせた動詞を変化させ、特に一般動詞の三人称単数現在形について理解させ、活用できる力を育成する。そのために、ペアによる動詞の変化のドリル練習を毎時間行わせ、定着を図る。肯定文、疑問文、否定文に対応できるように、段階を追って繰り返し練習させる。正しく言うことの定着を目指した練習で終わらすことなく、書く活動にも積極的に取り組ませる。

具体的には、正しく単語や英文が書けるよう、授業の中では書く活動にも時間を確保し、繰り返し練習させて語彙力の定着を目指す。さらに家庭学習において、学習した単語や英文を何度も練習させ定着を図る。新出の文型については、基本文型を十分理解し、その文型を活用してオリジナル文を書かせることで表現力を高める指導も行っていきたい。

第二に、自分や相手以外の他の人を紹介する英文を文構造や動詞を意識させながら正確に書かせる指導を行っていく。特に、主語、動詞の位置関係や三人称単数現在形の場合の動詞の変化、三人称単数現在形の場合の be 動詞と一般動詞の使い分けに注目させたい。

教科書本文の内容を理解させる際には、主語と動詞に異なる色を付けてチェックさせ、動詞の変化や位置を確認させる。また、他己紹介をする場面を設定し、be 動詞と一般動詞のどちらを使うのが適切かを考える場面をもたせ、英文を書かせていく。

(3) 人権教育との関連

生徒同士が、互いに関わり合い、互いに励まし助け合って学習を進めることで、自他の価値を互いに認める態度を育成したい。また、こうした学び合いを通して、自己効力感や自己有用感を高めたい。具体的には、ペアによるドリル練習、音読練習、他己紹介文を書いて発表するまでの学習過程を仕組み、生徒指導の三機能を効果的に生かしながら学習活動に取り組ませたい。特に、他己紹介をする表現活動では、英文を互いに読んだり、聞き合うことで、知恵を出し合い、紹介される人(他者)の情報が聞き手に分かりやすく伝わるような紹介文をグループの中で協力して書かせる指導をしていきたい。

4 単元の目標

○積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○一般動詞の三人称単数現在形を用いて、他の人を紹介できる。(外国語表現の能力)

○三人称単数現在形を用いた英文の内容を理解することができる。(外国語理解の能力)

○三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文の形と用法が理解できる。

(言語や文化についての知識・理解)

5 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。 ② リズム、イントネーション、発音に注意して読もうとしている。	① 他者について質問したり、答えたりすることができる。 ② 一般動詞の三人称単数現在形を用いて、英文を書くことができる。	① 書かれた内容について大切な部分を読み取ることができる。 ② 対話文を聞いて、大切な部分を聞き取ることができる。	① 一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文の形・意味・用法を理解している。

6 指導と評価の計画（全9時間）

次	学習活動（時数）	評 価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
1	○一般動詞の三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を理解する。（1）				◎	エ①一般動詞の三人称単数現在形（肯定文）の形・意味・用法を理解している。	ワークシート
	○本文の内容を理解し、音読する。（1）	○			◎	ア②リズム，イントネーション，発音に注意して読もうとしている。 ウ①書かれた内容について大切な部分を読み取ることができる。	行動観察 ワークシート
2	○一般動詞の三人称単数現在形の疑問文とその答え方を理解し、表現する。（1）				○	エ①一般動詞の三人称単数現在形（疑問文）とその応答の形・意味・用法を理解している。 イ③他者について質問したり，答えたりすることができる。	ワークシート 行動観察
	○本文の内容を理解し、音読する。（1）	○			◎	ア②リズム，イントネーション，発音に注意して読もうとしている。 ウ②対話文を聞いて，大切な部分聞き取ることができる。	行動観察 生徒の応答
3	○一般動詞の三人称単数現在形の否定文の形・意味・用法を理解する。（1）				◎	エ①一般動詞の三人称単数現在形（否定文）の形・意味・用法を理解している。	ワークシート
	○本文の内容を理解し、音読する。（1）	○			◎	ア②リズム，イントネーション，発音に注意して読もうとしている。 ウ①書かれた内容について大切な部分を読み取ることができる。	行動観察 ワークシート
4	○マッピングについて知り、アニメのキャラクターについてマッピングを用いてまとめる。（1）				◎	エ②紹介文を書くために必要な文構造や語法，文法などに関する知識を身に付けている。	ワークシート
	○マッピングを用いて、アニメのキャラクターについての紹介文を書く。（1）（本時）	○			◎	ア①積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。 イ②一般動詞の三人称単数現在形を用いて，英文を書くことができる。	行動観察 ワークシート
5	○単元のまとめをする。（1）				◎	エ①一般動詞の三人称単数現在形の肯定文，疑問文とその応答，否定文の形・意味・用法を理解している。	ワークシート 評価問題

7 本時の展開

(1) 本時の目標

一般動詞の三人称単数現在形を用いて、他者を紹介する英文を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

・積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

・一般動詞の三人称単数現在形を用いて、英文を書くことができる。

(外国語表現の能力)

(3) 学習の展開

設定した言語活動を通して育てたい力

他者紹介文を書くことを通して、be 動詞や一般動詞の三人称単数現在形を使って、他者について説明することができる。



思考力
判断力
表現力
の育成

	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
導 入 7 分	1 あいさつをする。 2 既習事項の復習をする。(ペア活動) 3 本時のめあてを確認する。	◇主語に合わせた動詞の変化や三人称単数現在形を繰り返し練習させ、理解させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">アニメのキャラクターの紹介文を仲間と協力して書くことができる。(6文以上)</div>	
展 開 38 分	4 モデル文を聞いて、何のキャラクターについて紹介しているかを考える。 5 前時に書いた「マッピング」を基に、アニメのキャラク	◇モデル文を参考にしながら、三人称単数現在形を使って英文を書くという本時の学習内容に見通しを持たせる。 ○クイズ形式にして英文で楽しく答えさせる。 ○英文を聞いたあと、何のキャラクターについて紹介したかを確認させる。 ◇英文を黒板に貼りながら、主語と動詞に注目させる。 ◇黒板にモデル文を貼ることで、生徒の理解を支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">This is Doraemon. He has a sister. He has a pocket. He has a lot of tools. He likes Dorayaki. He doesn't like mouses. He is kind. He helps Nobita.</div>	

<p>ターの紹介文を書く。</p> <p>【協同学習】</p> <p>(1) グループ内で自分の役割を決める。</p> <p>(2) 個人で英文に直す。</p> <p>(3) グループ (3人) で互いの英文を交流する。</p> <p>(4) 全体で交流する。</p>	<p>○前時に書いたマッピングを基に、自分の担当の情報を決めさせる。</p> <p>・グループ内で役割分担を行わせ、一人一人に役割を与え、課題解決への責任を持たせる。</p> <p>○英文に直し、ワークシートに書かせる。 (1人2文)</p> <p>・一人でじっくり考える時間を設け可能な限り、挑戦させるよう生徒に声をかけて回る。</p> <p>◇2文を書くことができれば、その他の情報を英文に直させ、できるだけたくさん書かせる。</p> <p>◆教科書や既習の学習プリントを参考にさせる。</p> <p>◆分からない単語は辞書で調べさせる。</p> <p>○次の①から⑦の具体的指示を示し活動させる。</p> <p>①個人で書いた英文を見せ合い、互いに読み合う。</p> <p>・たどたどしい発音だとしても最後までお互いに聴きあう。</p> <p>②情報が正しく英文として書かれているかをチェックし合い、赤で直させる。(主語、動詞の変化、be動詞と一般動詞の使い分け、単語の綴り)</p> <p>・良くできているもので修正箇所がない生徒には Good マークを付けて、「すばらしいよ」と認めたことが伝わるようにする。</p> <p>③ 友だちがアドバイスしてくれた点を参考に、最初に自分がワークシートに書いていた英文を再度書き直させる。 (be動詞を用いた英文・・・黄色) (一般動詞を用いた英文・・・ピンク)</p> <p>④再度自分が書いた英文を、発表用の大きなカードに転記させる。</p> <p>⑥グループのメンバーが持ち寄った発表用の大きなカードを、どの順番で発表すると聞き手に分かりやすく伝わるかを考えて並べ直す。</p> <p>⑦英文で読む練習をさせる。(自分が分担した英文を自分が読む。)(音量や強弱も考えさせる。)</p> <p>○互いの発表を聴き、どのキャラクターを言っているのかを当てる。</p> <p>○発表グループは、発表の仕方や文書の並べ替えで工夫したところを発表する。</p> <p>○発表を聴いたグループは、もっと聴きたいことなどを質問し意見を交流し合う。</p> <p>◇動詞の変化や文の伝わりやすさなど、紹介文のよいと</p>	<p>○積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとしている。 [コミュニケーションへの関心・意欲・態度] (行動観察)</p> <p>◎一般動詞の三人称単数現在形を用いて、英文を書くことができる。[外国語表現の能力] (ワークシート)</p> <p>○生徒同士が、互いに関わり合い、互いに励まし助け合って学習を進めることで、自他の価値を互いに認めている。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		ころを指導者が言葉で評価する。 ◇間違い（特に動詞の変化）は、できるだけ生徒に考えさせ、訂正させるようにする。	
まとめ 5分	6 本時の振り返りをする。 7 次時予告をする。 8 あいさつをする。	○振り返りを記入させ、交流させる。 ・一般動詞の三人称単数現在形を使って、紹介文を書くことができたか。 ・仲間と協力して、紹介文を書くことができたか。（感想も含める） ○各グループの発表内容や発表の仕方で良かったと思う点や学べたこと、共感できたことを発表させる。	○学び合いを通して、自己効力感や自己有用感を高めている。

8 板書計画

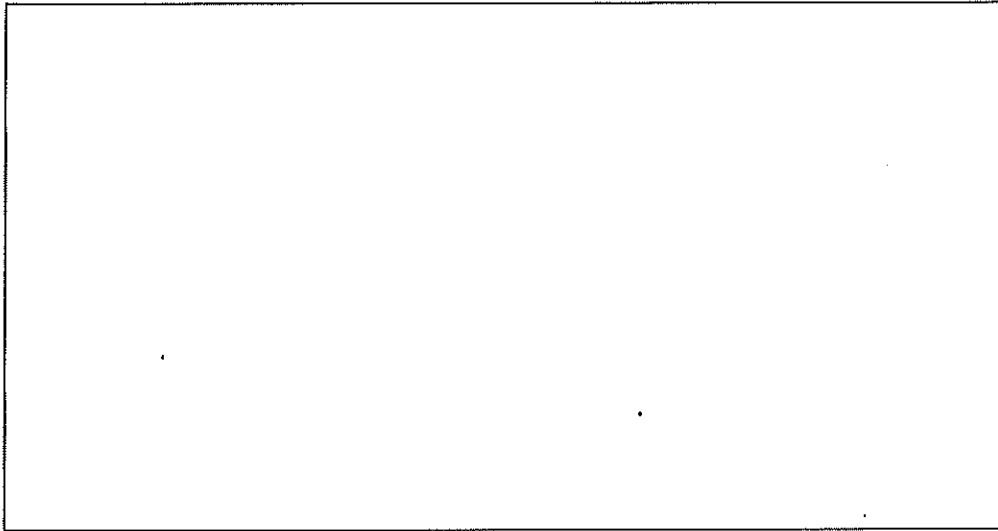
Goal: アニメキャラクターの紹介文を仲間と協力して書くことができる。(6文以上)

This is Doraemon. He has a sister. He has a pocket. He has a lot of tools. He likes Dorayaki. He doesn't like mouses. He is kind. He helps Nobita.	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto;">写真</div>	(生徒の作品) 1班 ～4班
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------

9 【人権教育の視点とその具体化】

	授業での生徒の姿	人権教育の目標	手立て
自分を大切に する	<ul style="list-style-type: none"> ●自分に課せられた課題に対して、解決しようと努力している。 ●難しい問題にもあきらめずに挑戦し、できるようになった自分を肯定的に受け止めている。 	○自己効力感を高め、自己を肯定的に見ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で役割分担を行わせ、一人一人に役割を与え、課題解決への責任を持たせる。 ・視覚的に自分の書いた英文が記録としてカードに残り、自分の考えが活かされているという実感を持たせる。 ・良くできているもので修正箇所がない生徒にはGoodマークを付けて、「すばらしいよ」と認めたことが伝わるようにする。
他者を大切に する	●仲間と互いに励まし、助け合って、学習を進めている。	○自他の違いを共感的に受け止め、相手を尊重した態度や行動をとることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者に注目し、傾聴させる。 ・たどたどしい発音だとしても最後までお互いに聴きあう。 ・友だちがアドバイスしてくれた点を参考に、最初に自分がワークシートに書いていた英文を色カードに再度書き直させる。 ・友だちが分からないところは、一緒に考え、アドバイスをさせる。
共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> ●互いの存在を認め合っている。 ●他者の役に立てている自分に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共感的人間関係を持つことができる。 ○自己有用感を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表内容や発表の仕方で良かったと思う点や学べたこと、共感できたことを発表させる。 ・グループ内で役割分担を行わせ、一人一人に役割を与え、課題解決への責任を持たせる。

Goal : アニメキャラクターの紹介文を仲間と協力して書くことができる。



- 1 役割分担（自分の担当のところに○をしよう。）
- 2 自分の役割の英文を書こう ※自分の英文を書き終わったら、友達の英文も書こう。

- 3 グループで考える（主語、動詞の変化、be 動詞と一般動詞など）
※読み合い、見せ合い、赤でチェックしていこう
- 4 カードに自分の英文を書く（色ペンを工夫して）
- 5 カードを並べかえて、読む練習をする
- 6 発表&交流
大きな声で発表しよう。
他のグループの良いところや学んだこと、質問など出し合おう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

～振り返り～

1 チェックしよう できた (○) まあまあ (△) できなかった (×)

- be 動詞と一般動詞を正しく使い分けながら英文を書くことができたか。()
- 主語に合わせた動詞の変化に気をつけながら英文を書くことができたか。()
- 仲間と協力して英文を書くことができたか。()

2 一般動詞に s(es)をつけるのは、どんなときにつけるのか説明しなさい。

<hr/> <hr/> <hr/>

3 今日の授業を終えて学んだことや、感想を書こう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
